



お月見会 in 吉田寿司

先日、中区丸の内にある吉田寿司のお月見会に行ってきました。

お月見会は、お店の主催で、年に1回行っているようです。

入口から、細い路地を奥へ。



玄関には、餅つきをするウサギが飾られ、お月見の気分を盛り上げてくれます。

庭を眺めながら、渡り廊下を通り、奥座敷へ。

入口からは、想像できない、別世界が広がっています。

ここが、都心の一角であることを忘れてしまうような空間です。



お月見らしく、座敷の縁側には、すすきとお団子、栗がお供えされていました。

畳の部屋から、庭越しに見るお月見は、和の空間の良さを改めて感じました。

この建物は、もともとは、隠居所として建てられたもので、米野から移築されたものとお店の方から聞きました。

また、建物の詳細は、愛知県教育委員会から出ている「愛知県の近代和風建築」にも掲載されています。



お月見会の献立は、季節のもので彩られ、くわいや栗きんとん、ぎんなん、ゆり根、玉子の黄身を味噌に漬けたもの、さわらの焼き物など、どれも本当に美味しかったです。

このほかにも鯖寿司や牡蠣雑炊など、色々なものが出てきて、締めは、お菓子とお抹茶で、とても風流な時間が過ごせました。

(M. Y)